

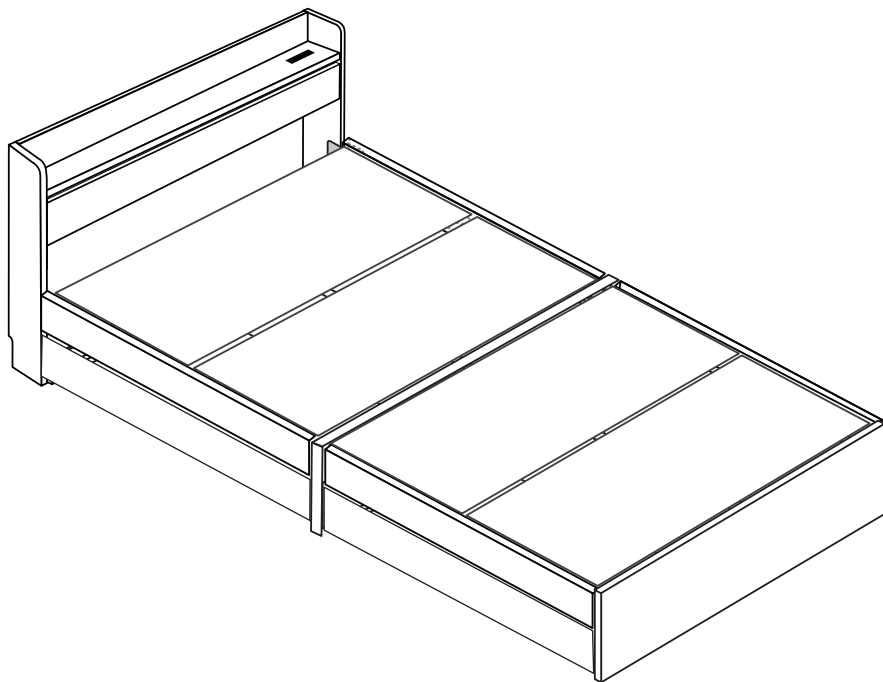
CYBF4423

SIZE : S

組立説明書

ver.1809

本品はお求めやすい価格で販売するため
運送コスト削減手段として、小さい部材の構成となっております。
そのため、一般的な商品と比較して、少々組み立てにお時間がかかります。
何卒、ご了承の程お願い申し上げます。



表示者

株式会社ビックスリー

〒339-0067 埼玉県さいたま市岩槻区西町4-2-1

生産国：中国製

安全に組立をして頂くために

※組立を始める前にご確認ください。

● 広い場所を確保し、床に傷がつかないようにご注意ください。

⇒ お客様にご用意いただく道具

●ドライバー

ネジ穴の大きさに合ったドライバーをご使用下さい。

ネジ穴に合わないものをご使用になると、ネジ穴をつぶしてしまう場合があります。

※電動ドライバーを使用する際は、ネジの締めすぎにご注意下さい。

⇒ 部品・付属品について

●ネジをきつくしめすぎるとネジ穴が破損するおそれがありますので十分にご注意下さい。

●部品・付属品に不備がないかお確かめのうえ、組立を開始して下さい。

※実際の部品と説明書記載のイラストが多少異なる場合がございますがご了承下さい。

⇒ カムロックについて

●カムロックは以下の点に注意して取り付けを行って下さい。



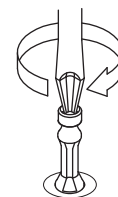
カムロック
ボルト



カムロック

カムロックの矢印側の開口部は、カムロックにカムロックボルトが入った状態で回転させると、開口部とカムロックボルトの頭がかみ合い、抜けなくなる仕組みとなっております。

カムロックボルトをしっかりと奥まで取り付ける。



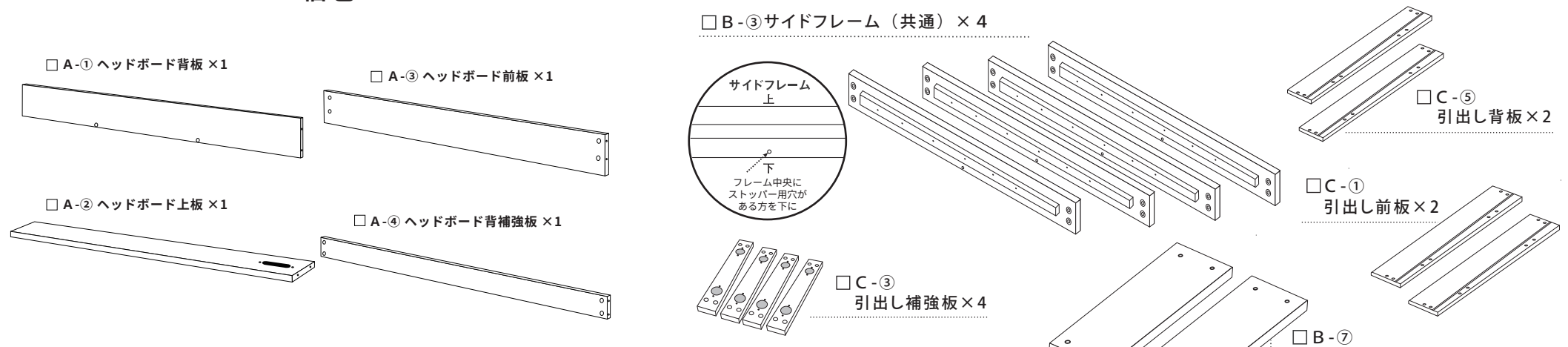
180度回転



梱包内容

※部材には番号のシールが貼ってあります。 ※□に☑をつけていくと部材の確認ができます。

2-1 梱包



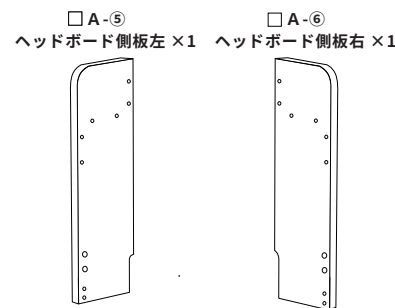
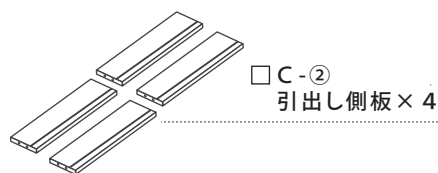
2-2 梱包

部材名	図	個数
a ネジ		19
b コンセント		1
c フェルト		50
d カムロックボルト		57
e カムロック		57
f ボルト		24
g 連結ボルト		×4
h 六角レンチ		大×1 小×1
i 平型連結金具		2
j L型連結金具		6
k コード止め		1

s	キャスター		8
u	長ボルト		2

● 予備

d,カムロックボルト ×2
e,カムロック ×2
f,ボルト ×2
g,連結ボルト ×1 カムロックボルト受け ×4
k,コード止め ×1 受けネジ着脱セット ×1

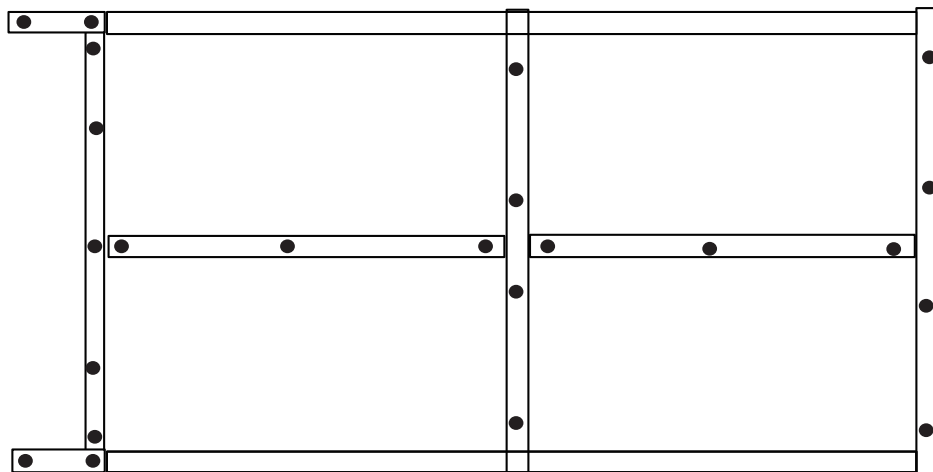


フェルトの貼付け例

本体を組立てる前に、本体の底面部品に付属の c フェルトを剥がれないよう下記イラストを参考に貼付けて下さい。

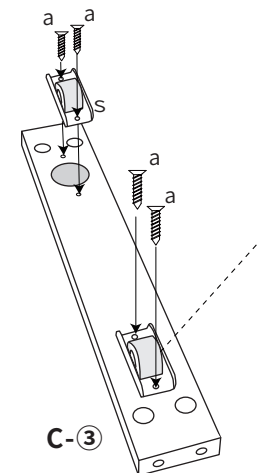
必要に応じて、市販のフェルト等を兼用して下さい。

フェルトは必要に応じて
カットして下さい。



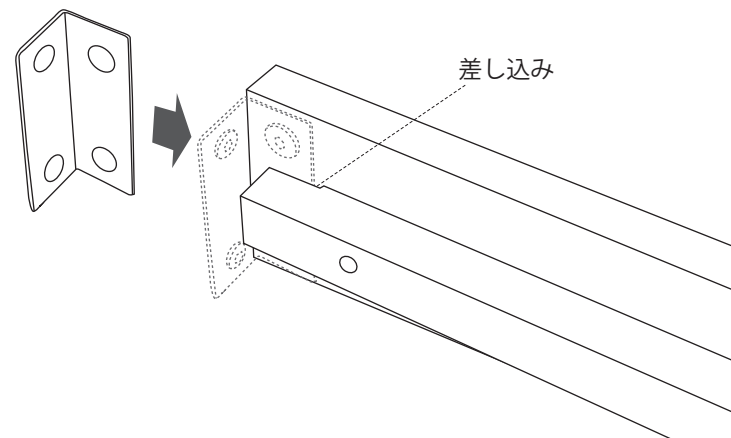
準備

C-③引出し補強板×4に
s ,キャスターを図の位置に
p ,ネジを使い取付けて下さい。



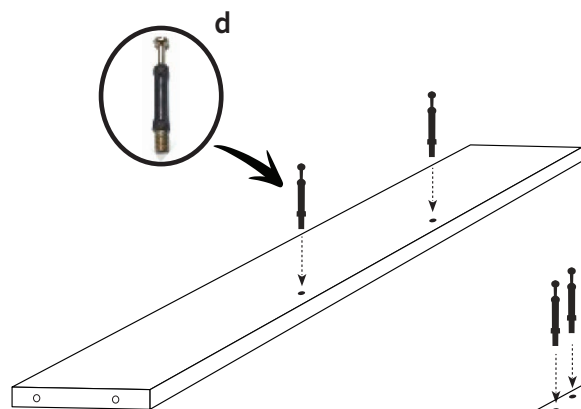
注意

サイドフレームへの金具の取付け方について
サイドフレーム図の切込み位置に金具を差し込み取付けます。

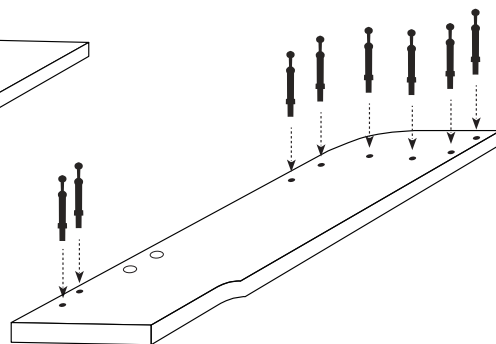


準備

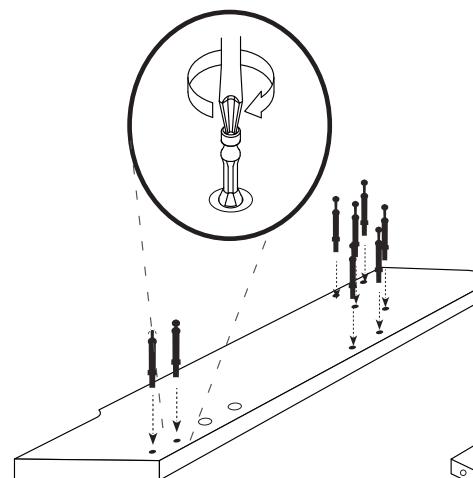
A-①, A-④, A-⑤, A-⑥に d のカムロックボルトを取り付けて下さい。



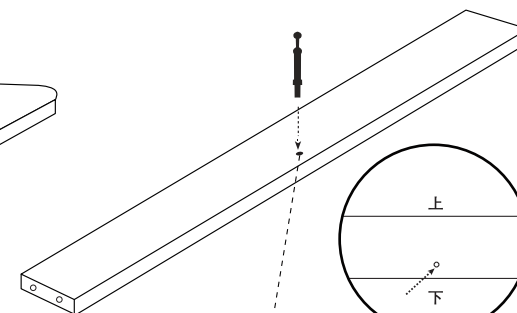
A-①



A-⑤ 左



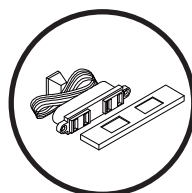
A-⑥ 右



A-④

上下がございます。
カムロックピン用穴
がある方が下になります。

⇒ コンセントの取付

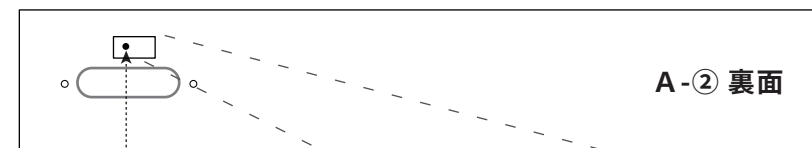


A-② 上面

b のコンセントを A-②に取り付けて下さい。
電源コードを先に A-②の穴へ通します。
A-②と コンセントを a のネジで本締めします。

b

電源コードを h のコード止めで A-②裏面に取り付けて下さい。
h を a のネジで本締めします。

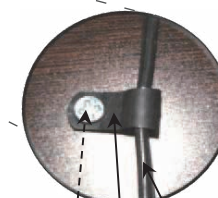


A-② 裏面



コード止めの取付

k コード止めでコードをはさみ a で固定します。
(※コードをネジで傷つけない様ご注意ください。)



a

k

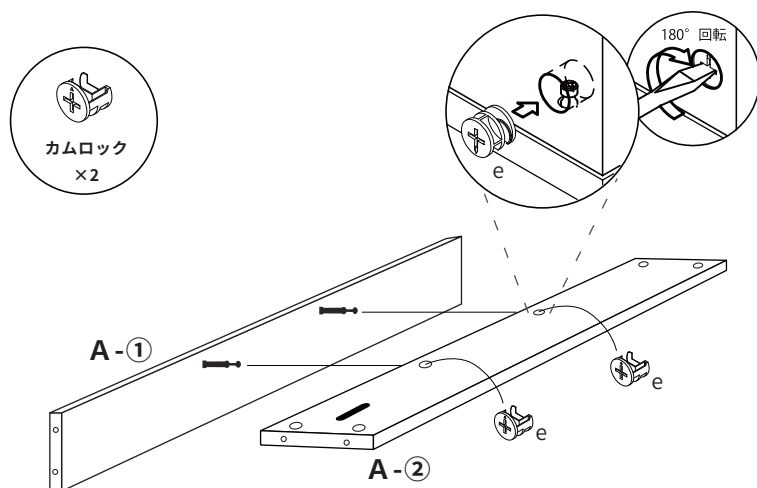
コード

組立

ヘッドボード組み立て

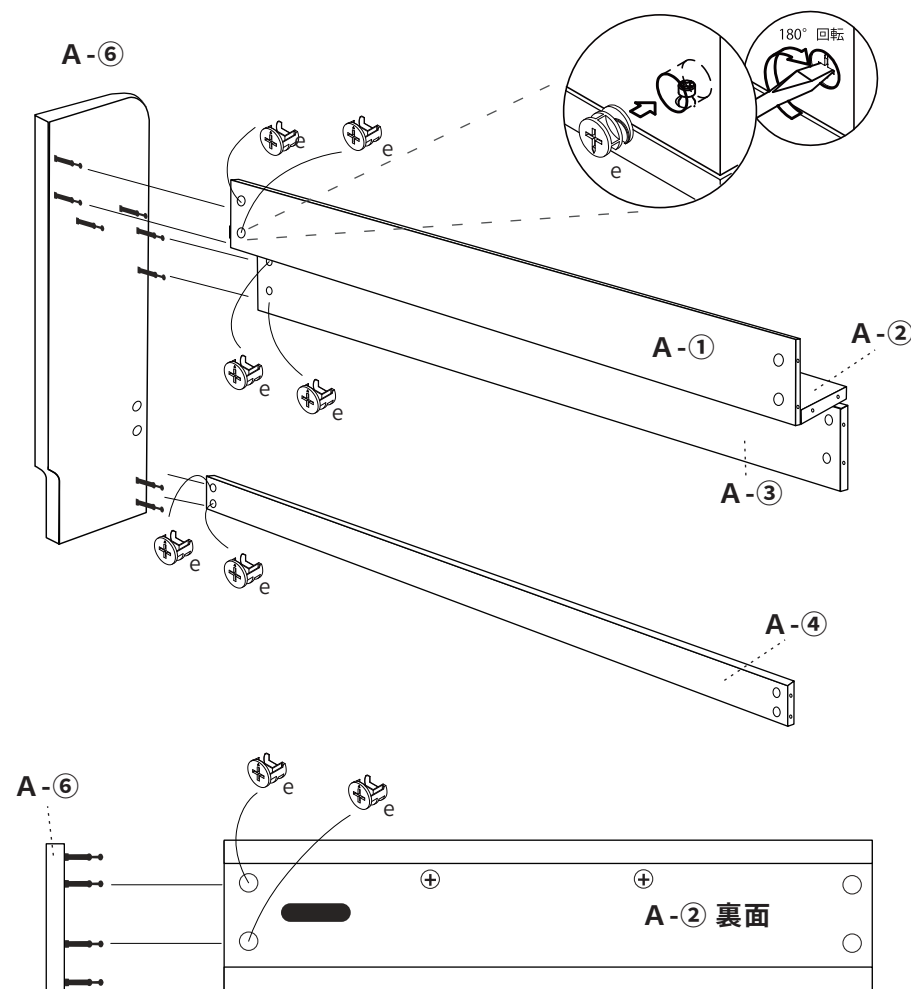
1

A-①にA-②をカムロックで取り付けてください。



2

A-⑥にA-①、A-②、A-③、A-④、をカムロックで取り付けてください。



組立

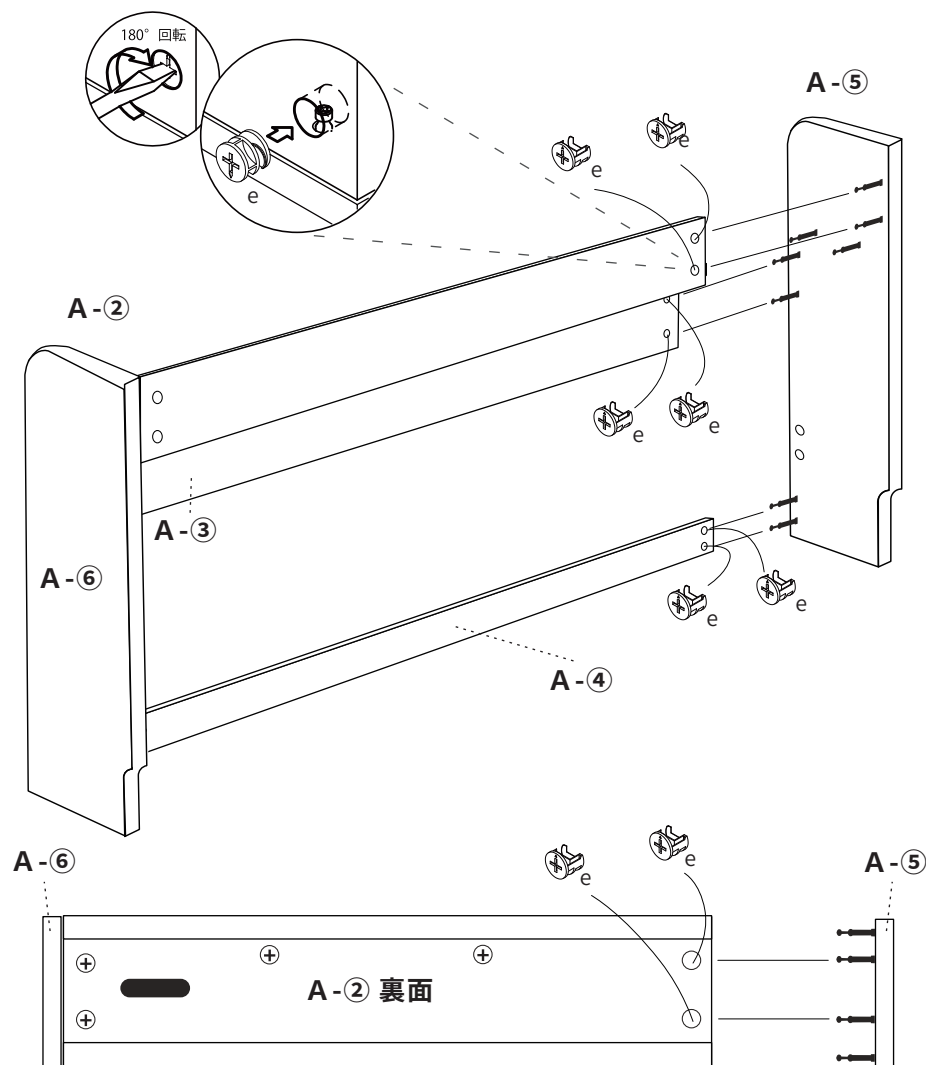
ヘッドボード組み立て

3

A-⑤にA-①、A-②、A-③、A-④、A-⑥を
カムロックで取り付けてください。

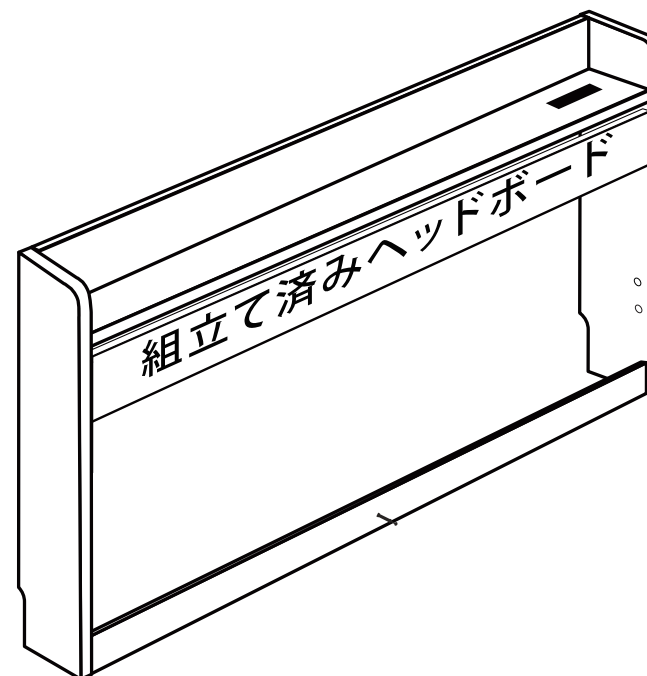


カムロック
×8



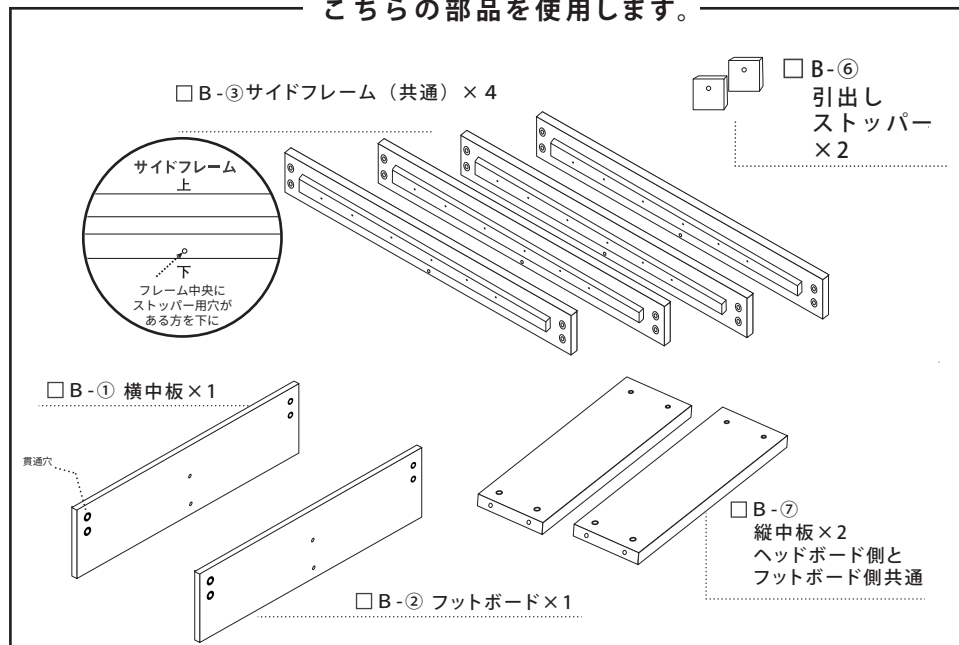
4

下図の様にヘッドボード完成となります。



組立 【本体】

こちらの部品を使用します。



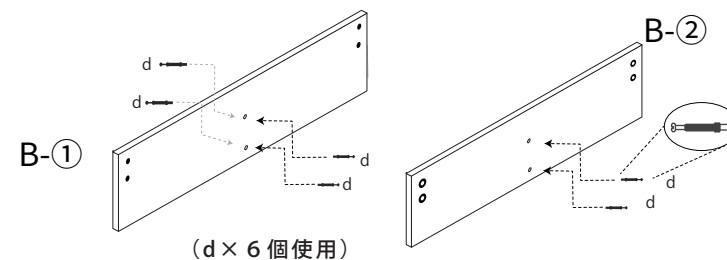
下記部品は2-2梱包に同梱

部材名	図	個数
d カムロックボルト		×57 (7個使用)
e カムロック		×57 (7個使用)
f ボルト		×24 (24個使用)
g 連結ボルト		×4 (4個使用)
h 六角レンチ		大×1 小×1 (fとuに使用)
i 平型連結金具		×2 (2個使用)
j L型連結金具		×6 (6個使用)
u 長ボルト		×2 (2個使用)

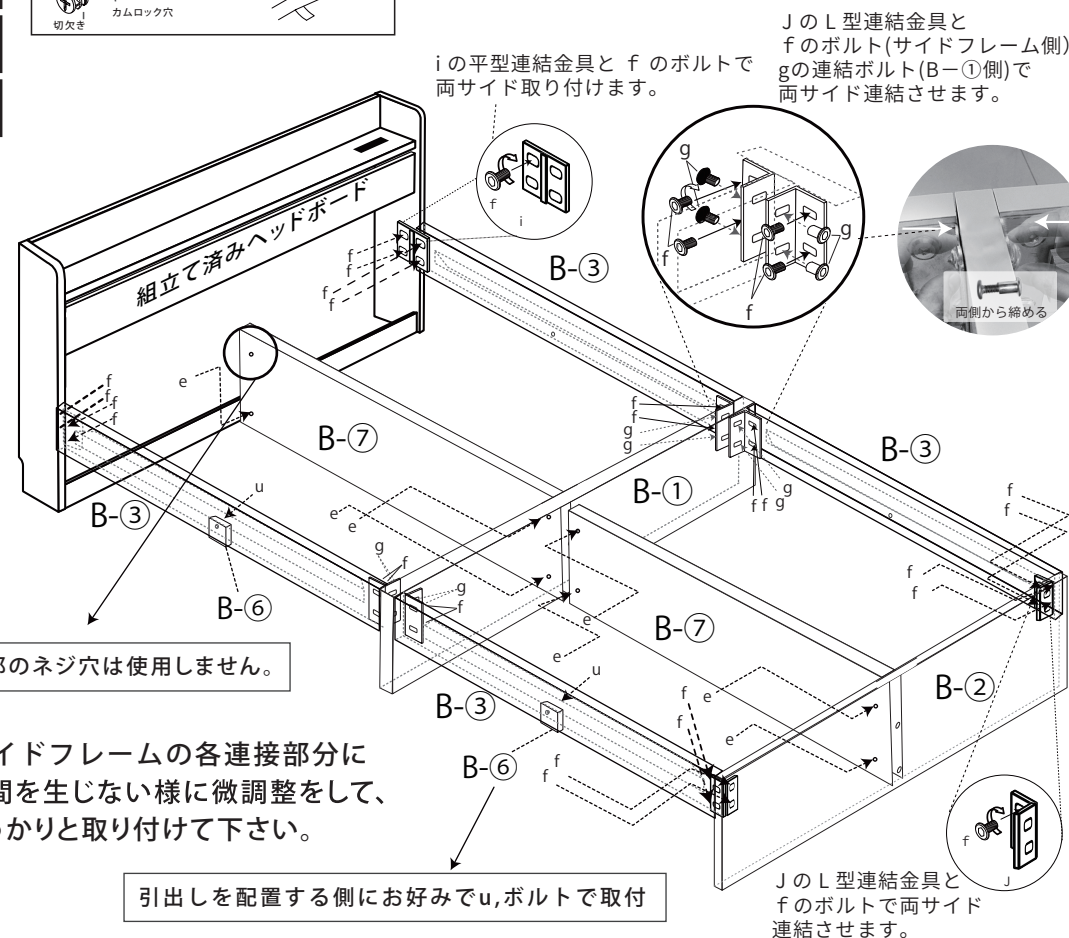
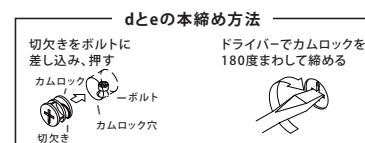
組立手順

準備	B-①, B-②にdを取り付けて下さい。
1	B-①, B-②, 組み立て済みヘッドボード, B-⑦ 2枚をeで本締めします。
2	B-③ 2枚を組み立て済みヘッドボードにiでfを仮締めし B-①にjでfとgを仮締めします。
3	B-③を2枚B-②にfで、B-①にはfとgで仮締めします。
4	各部にゆがみ等ない様に整え全てのボルトを本締めします。引出しを配置する側のB-③にB-⑥をuで取付けてください。

準備



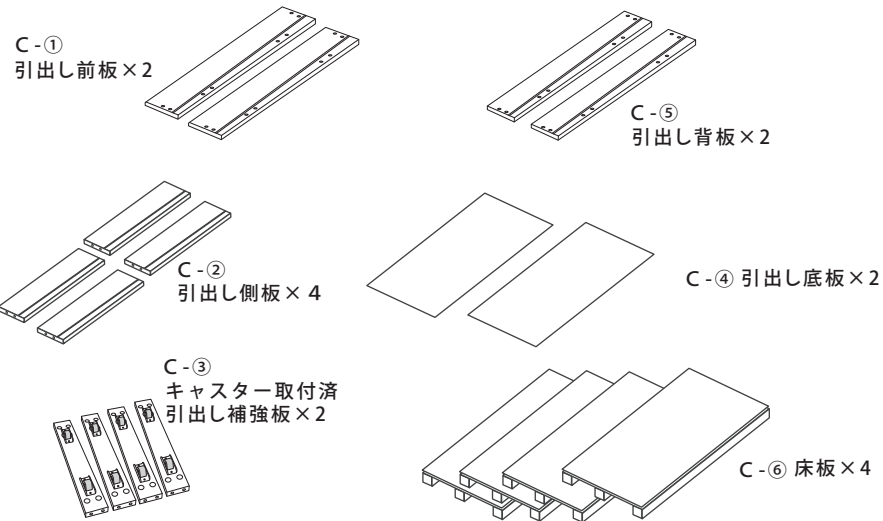
- 1
- 2
- 3
- 4



※ サイドフレームの各接続部分に隙間を生じない様に微調整をして、しっかりと取り付けて下さい。

組立 【引出し～床板】

こちらの部品を使用します。



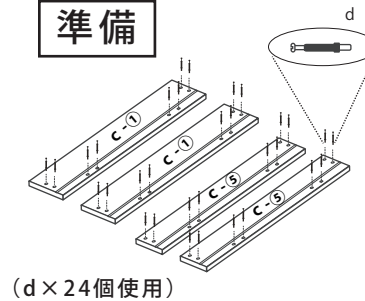
下記部品は2-2梱包に同梱

部材名	図	個数
d カムロックボルト		×57 (32個使用)
e カムロック		×57 (32個使用)

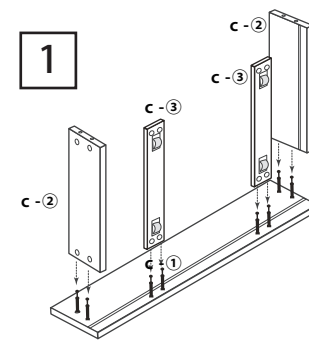
組立手順

準備	C-①, C-⑤にdを取り付けて下さい。
1	C-② 2枚と、C-③をC-①に取り付けて下さい。
2	C-④をC-②とC-①の溝に沿って差し込んで下さい。
3	C-⑤を取り付けて下さい。
4	それぞれをeで本締めします。
5	C-⑥を1枚ずつ乗せて下さい。
6	組み立て済み引出し2個を入れて完成です。

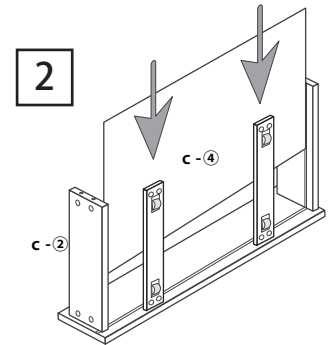
準備



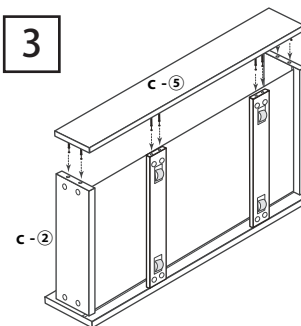
1



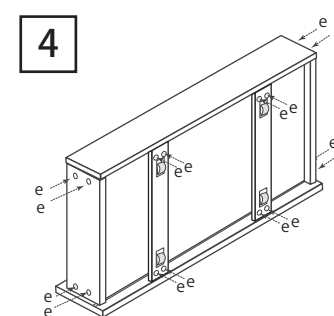
2



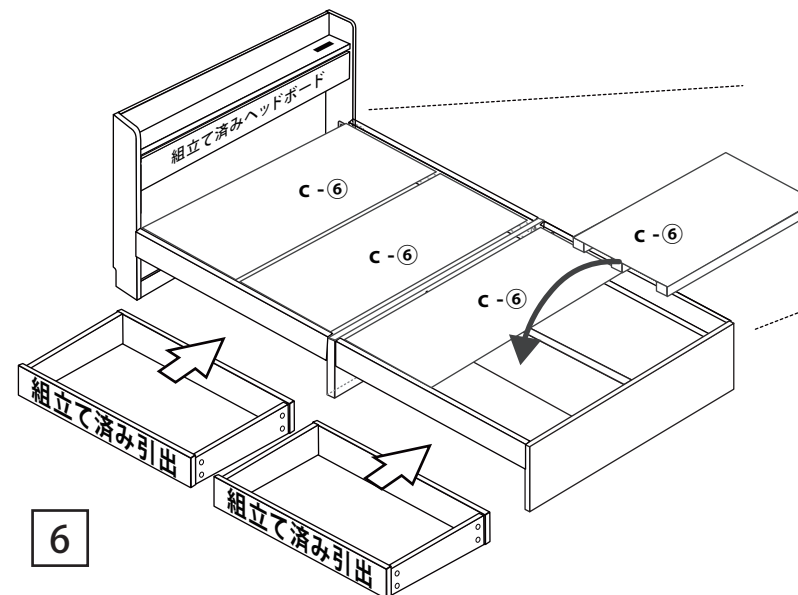
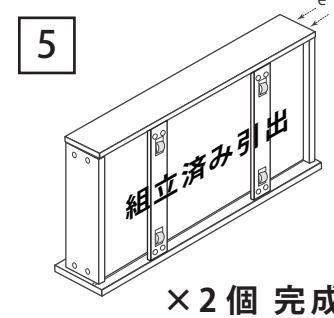
3



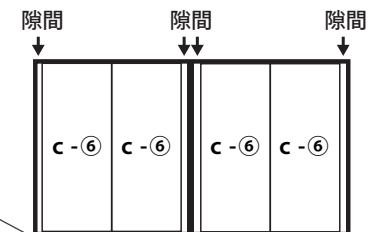
4



5

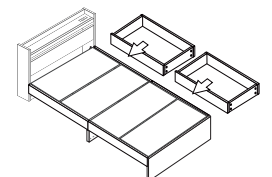


6



床板は両端に隙間が空くように寄せて配置して下さい。

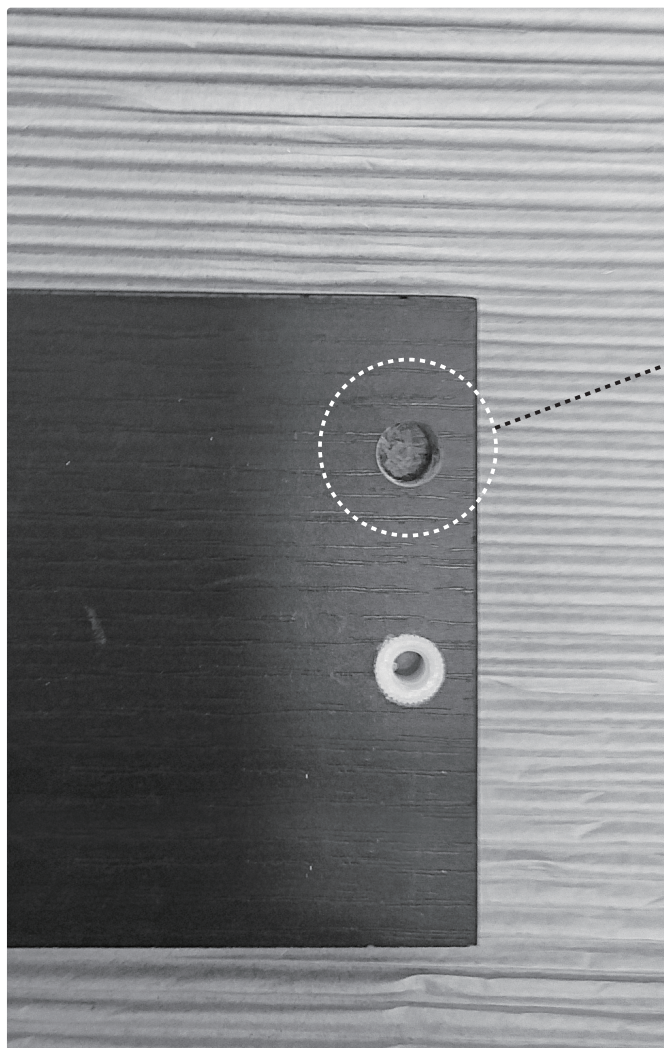
引出しは左右に付け替え可能です。





カムロックボルト差し込み受けについて、お願いします

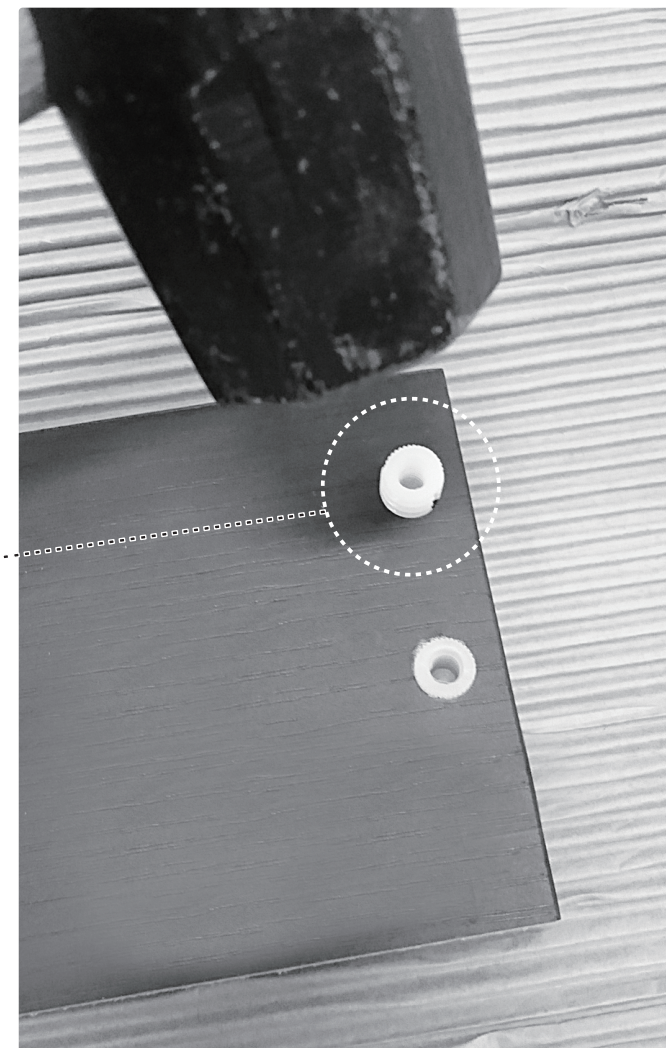
出荷前検品をおこなっておりますが、万が一カムロックボルトを差し込む受け（白色プラスチック製）の打ち込み漏れが御座いましたら、予備部品 k, カムロックボルト受けをハンマー等を用い図の様に打ち込み下さいませ。



白色プラスチック
打ち込み漏れあった場合



予備部品をハンマー等で
打ち込んで下さい。



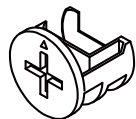
→ カムロックについて



●カムロックは以下の点に注意して取り付けを行って下さい。



カムロック
ボルト



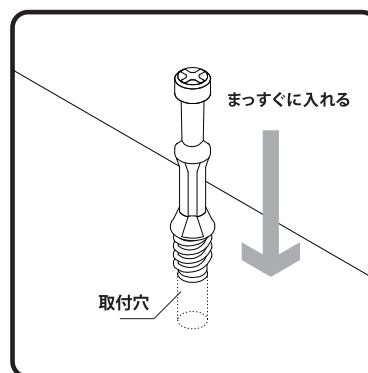
カムロック

カムロックボルトを矢印の位置まで取り付ける。
奥に入れ過ぎるとボルトが壊れてカムロックと
かみ合わなくなってしまう。



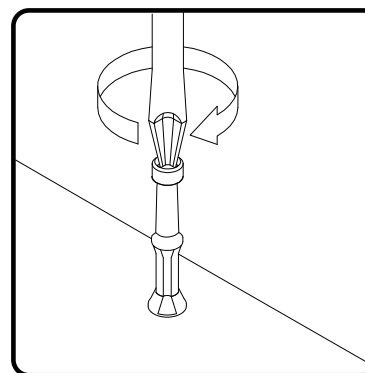
【1】

カムロックボルトを取付け穴に対して
まっすぐに入れてください。



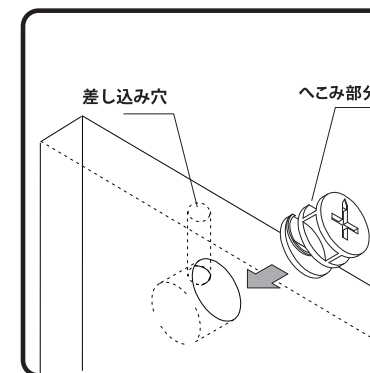
【2】

カムロックボルトをネジ山の根元
まで入れてください。



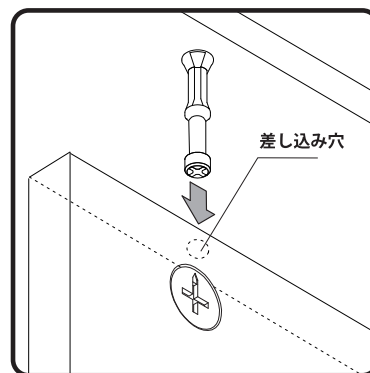
【3】

カムロックのへこみ部分を
カムロックボルト差し込み穴の方へ
向け、まっすぐに差し込んでください。



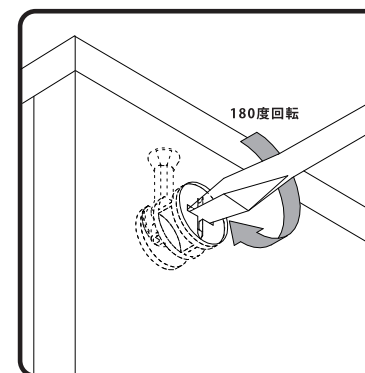
【4】

カムロックボルトのヘッドを差し
込み穴にまっすぐに入れてください。

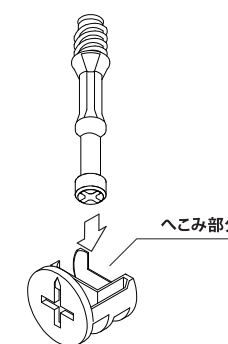


【5】

カムロックをドライバーで時計回り
にしめてください。

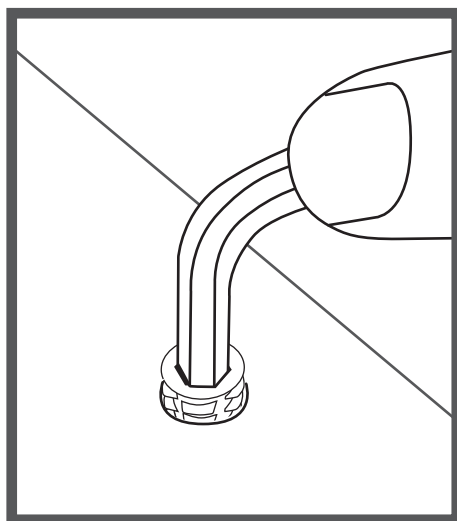


カムロックのへこみ部分をカムロック
ピンに向ける事により、カムロックに
カムロックボルトが差し込まれます。



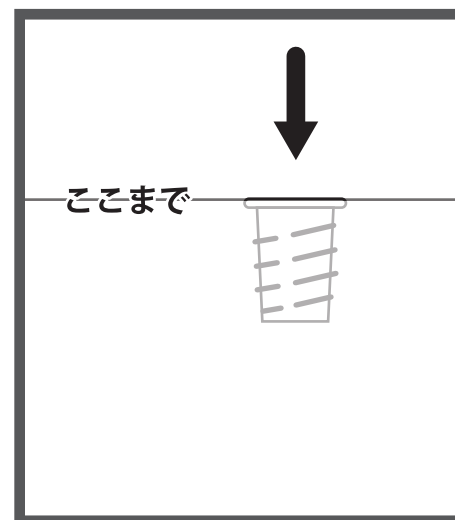
⚠ 受けネジについて、お願いします

出荷前検品をおこなっておりますが、万が一受けネジが無い、受けネジのネジ切が無い場合が御座いましたら
予備部品 受けネジを六角レンチで図の様に装着、交換下さいませ。



専用の六角レンチで
着脱可能です

右回転⇒装着
左回転⇒取り外し



受けネジは締め過ぎない
様にして下さい

板と受けネジ頭の高さが
揃う程度で締め付けを
完了して下さい